

第11回食品表示連絡会議 議事要旨

1. 日 時：平成30年9月18日（火） 10:25～11:20
2. 場 所：共用1214特別会議室（中央合同庁舎第4号館12階）
3. 出席者：（消費者庁）
井内次長、小林審議官、赤崎食品表示企画課長、
木村食品表示対策室長
（警察庁）
鈴木生活経済対策管理官、佐々木生活経済対策管理官付補佐
（国税庁）
吉井長官官房審議官、杉山酒税課長
（農林水産省）
三上食品表示・規格監視室長
（厚生労働省）
道野食品監視安全課長（オブザーバー）

4. 議事要旨

（1）開会

- 井内次長から、第11回会議の開催にあたり冒頭挨拶を行った。

（2）食品表示制度をめぐる情勢

- 赤崎食品表示企画課長から、食品表示基準の一部改正、遺伝子組換え表示制度の検討状況、機能性表示食品制度についての説明があった。また、平成30年7月豪雨への対応及び平成30年北海道胆振東部地震への対応についての発言があった。

（3）各省庁からの報告

【警察庁】

- 鈴木生活経済対策管理官の挨拶後、佐々木生活経済対策管理官付補佐から、平成29年における食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況についての報告があった。また、今後も関係省庁間での連携強化、早期の情報共有が行えるよう要望する旨の発言があった。

【国税庁】

- 吉井長官官房審議官の挨拶後、杉山酒税課長から、国税庁における酒類の表示の適正化に関する取組についての報告があった。また、新たな表示制度への対応について、経過措置期間の終了までに事業者が円滑に移行できるよう、引き続き適切な指導に取り組んでいく旨の発言があった。

【農林水産省】

- 三上食品表示・規格監視室長から、平成29年度食品表示等監視実績についての報告があった。また、今年度から、事業者への周知と消費者への情報提供という観点から、平成29年度の監視結果について、違反の内容を詳細に公表している旨の発言があった。

【厚生労働省】

- 道野食品監視安全課長から、食品衛生法改正（食品リコール情報の報告制度）についての報告があった。また、対象範囲について、食品衛生法に違反する食品と食品衛生法に違反するおそれがある食品の詳細を検討している旨の発言があった。

【消費者庁】

- 木村食品表示対策室長から、食品表示に関連する法律の執行、健康食品に関する表示の監視の取組状況、食品表示監視協議会の運営・活動状況、食品表示法及び景品表示法の執行実績等の報告があった。

(4) その他

【消費者庁】

- 小林審議官から、食品表示の法執行に当たり、本省庁、地方のブロック機関及び都道府県レベルまでの連携が重要であり、本会議の内容について、地方への共有が必要な情報は、各食品表示監視協議会を通じて周知していくこととしたい旨の発言があった。